越谷町広報

発行所
埼玉郡南埼玉郡
越谷町役場企画室
電話越谷42,517,519.522番

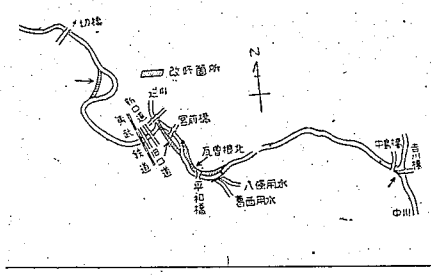
元荒川改修計画に對し
対策委員會組織
―元荒川下流で再考を要望―

農民注視の的である元荒川改修は、国家的施策から県河川課において六ヵ年計画の設計が行われました、この改修については過去各地に頻発した水害や、町村合併に伴う都市計画、農業経営の改善等により、元荒川上流につらなる関係町村住民の待望と併せ、これら関係町村が結集して、元荒川治水同盟会を組織し、多年にわたつて元荒川改修の促進運動を展開してきたものです、しかしながらその下流にある当越谷町を中心とした地区の利水用水関係から、河川課の計画した改修に考慮と検討を願う要望が起り、去る二月廿四日元荒川下流の土地改良関係者七〇名が当町役場に参集して、これが研究会を催し、大塚町長から改修計画説明のあと相当活発な意見と討論が行われ、元荒川下流の要望を強力に陳情、当局の再考を促すことになりました更に三月二十九日には、別掲元荒川対策委員が当町役場に参集委員会を組織し、これが運動を活発に展開することとなりました、今回河川課が計画しました元荒川の改修大綱は略図にもあります通り

1、元荒川全線にわたつて浚渫（二トン）工事を行う
2、末田堰枠の処で、須賀川よりへ二つだけ堰を設置する
3、荻島出津耕地の出張りを真直にする
4、逆川を一本化し、元荒川の下をもぐり直線に柳町の中央を横切る
5、御殿あたりから荒川堤防の東側に新堤防を作り、瓦曾根堰枠の先まで別河川を作る
6、中島橋下流西側中川合流点を、中川と並行に拡大し中川にそそぐようにするとなつております

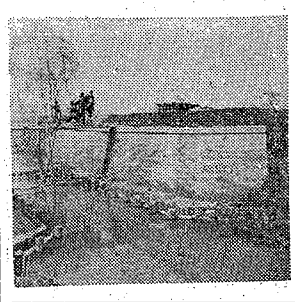
元荒川改修対策委員
◎は委員長

一、対策委員
(1)未田土地改良区＝川島惣三郎　井出門平、浜野幸太郎
(2)谷古田土地改良区＝堀井邦平　浅井正憲、森田久吉
(3)増林地区＝中村金治、中村治



土木事業報告

この土木事業は、昨年の二五号台風によつて荻島西新井耕地を流れる悪水路の護岸が極度にくずれたので、災害復旧工事として行つたものです、工事開始は卅一年二月十五日、工事終了は三月十五日、山崎組が五十四万一千一百円で請負い完成したものです



選挙公報
(6)

選挙管理委員会委員の異動
昭和卅一年四月一日付にて次の通り異動がありました（敬称略　上から新旧、氏名、住所、党派）
▽新　永野新太郎（大沢）　無
（卅一年四月一日補充委員から委員に就任）
▽旧　中里順道（見田方）　無
（卅一年三月卅一日退職）
（選挙係）

四月中旬五月中旬の農作業

気温も高まり緑の濃も深まる四月、五月ともなれば、農家も一層農作業に何かと仕事が多くなつて参ります、農業経営の合理化と申しますと非常にむづかしく思われますが、仕事の能率性を高めるために仕事の順序と組合せを致しましょう

一、苗代の準備　健苗の育成を目標として苗代面積の確保を計るために次の点に留意しましょう、これで某氏は組合長のよき協力を感謝しつつ完納の喜びに一家明るく、増産に励んでおります（税務課）

耕種改善講習会
第四地区農業委員会では浦生公民館で、浦生興農研究会後援のもと四月七日午後一時より県腰塚技師を招き標記講習会を開きました、熱心な農事研究者約五〇名が聴講しておりました（第四地区農委会）

青年団道路愛護奉仕
道路愛護旬間にあたり、大相模青年分団員約一五〇名が出動、県道の清掃修理を行いました（大相模支所）

無燈火部落明るみへ
東電越谷営業所と大塚町長の特別のはからいで、このほど七左門部落農業鈴木亀蔵さん等、四軒の農家に去月十六日午前八時半から送電が開始されました、ランプ生活で送つていただけに、その喜び方は非常なもので、今後明るい楽しい生活ができることでしょう

教育功労者表彰さる
町教育委員会では学校教育や社会教育にご尽瘁された次の諸氏を、去月二十九日午後一時役場会議室にお集り願つて表彰式を行い、多年のご功績をたたえました（教育委員会）（敬称略上から氏名、地区名表彰関係）
▼松沢武夫（桜井）PTA関係▼田川郡二郎（新方）社会教育関係▼井上竹松（増林）教育全般関係▼小島彦利（大袋）PTA関係▼小川六朗（荻島）PTA関係▼宇田川清造（出羽）PTA関係▼浅見金一郎（蒲生）教育全般関係▼中村千枝（大相模）社会教育関係▼関口馬次郎（越谷）教育全般関係▼浅野滋（大沢）教育全般関係

日本国際見本市に出品
四月八日より廿二日まで、大阪国際見本市会館および安治川畔で催される一九五六年度日本国際見本市へ、埼玉県よりの出品が決りましたが、その中に本町鈴幸人形店の人形玩具があり、郷土の物産振興に一役担うことになりました

百卅名の敬老会行う
荻島婦人会では去る一日、荻島地区満七十歳以上の敬老者百卅名を小学校に招待し、甘酒、お菓子、昼弁当等の接待をする一方、郷土舞踊、支人の演芸等、盛沢山の芸を披露して、いままで長い間残してくれた業蹟を心から謝し、今後の健康長寿を祈つてねんごろに接待しました、敬老者一人一人の面持も、喜びにあふれ和気あいあいのうちに五時三〇分終りました（荻島支所）

各地区で婦人会や青年団の総会開かる
丁度会計の年度替りで管内各地区婦人会や、青年団の総会が開かれ、三十年度事業決算報告並びに卅一年度予算事業計画、あるいは役員の改選等が行われました、いままで行われた処をお知らせいたします
▽四月一日荻島婦人会
新予算十一万円、新会長川島とし
▽同　荻島青年分団
新予算三万円、新会長小島謙蔵
▽同五日桜井婦人会
新予算四万五千円
▽同六日増林婦人会
新予算四万円、新会長小林くら
▽同八日増林青年分団
新予算六万円

自活功労表彰式行わる
去月十六日午前十時から、昭和三十年度埼葛町村会総会が春日部埼葛会館において行われ、その席上自活功労者として次の当町職員が表彰されました
荻島支所勤務　林　恵乗
総務課勤務　蛭田竜秀

民生功労者、模範更生家庭など表彰さる
去月廿九日埼葛会館における埼葛社会福祉協議会総会の際永年社会福祉に功労のあつた職員、民生委員や、立派に自立更生した模範家庭並びに民間協力者の表彰が行われました、当町関係は次の通りです（敬称略）
▽民生委員、森田光之助（浦生）水田近蔵（越谷）浅子斉輔（新方）
▽民間協力者、中山幸之助（越ケ谷）
▽模範更生家庭、小曾川きち（荻島）

国民健康保険入選標語
過日当町教育委員会を通じ、小、中学校生徒に国民健康保険税納入意慾向上の標語募集をしましたところ、応募総数一四四点に達しその中から厳選の結果、次の通り決定しました
▽小学校の部
保険税納めて後顧の憂なし　大袋小　栗原鑒子
国保税納めてわが家いつも春　大沢小　浜野正代
健康は保険税から笑顔から　新方小　横山美智代
▽中学校の部
健康保険みんなで育ててみんなで利用　増林中　桝岡秀夫
納めよう相互の助けだ健康保険　増林中　井上憲子
明るい家庭は保険から　新方中　小林和子

あちら―こちら

＝納税美談＝
出羽地区　大間野、川東第一納税組合員某氏は従来多額の滞納をしているところ、この度組合長岩土良平氏のよき指導により、納税の重大なることを認識され、困難なる生活をものかえりみず、収獲が終了するや、僅かな出荷の米代金をもつていち早く完納し、更に来るべき納期分まで納入しました、これで某氏は組合長のよき協力を感謝しつつ完納の喜びに一家明るく、増産に励んでおります（税務課）

広報サロン

日本国際見本市へ、埼玉県よりの出品が決りましたが、その中に本町鈴幸人形店の人形玩具があり、郷土の物産振興に一役担うことになりました

百卅名の敬老会行う
荻島婦人会では去る一日、荻島地区満七十歳以上の敬老者百卅名を小学校に招待し、甘酒、お菓子、昼弁当等の接待

町民税の申告は
四月二十日までに

例年の通り本年も町民税の申告書を提出していただくことになりましたので、期日までに必ず申告して下さるよう町民皆様のご協力をおねがいいたします

一、申告義務者　町内に住所を有する個人で前年の所得が四万円をこえる人

一、申告用紙　各納税組合長を通じ配布方お願いしてありますが、不足分については各支所に備付けてあります

一、申告書提出期日　四月二十日までに各支所へお届け下さい

主な役場日誌

四月一日　△荻島婦人会総会並に敬老会△南部連合青年団総会
三日　△午後二時役場に広報専門委員会△午後一時役場に元荒川改修対策委員会
五日　△午前十時県庁に県道路協会第六回総会△午後一時係長会議△町長午後大袋貯水槽視察
六日　△大会議室青色申告指導会△午前十時新方青年分団並びに婦人会総会△正午増林婦人会総会
七日　△午後二時定使野集会所懇談会町長出席
八日　△午前九時増林青年分団総会
九日　△午前十時護国神社大祭△午前午後にわたり管内各小・中学校入学式
十日　△午前九時大相模土地改良契約
十一日　△荻島消防分団貯水槽水入れに町長立会い
十二日　△正午木曜会（役場）
十三日　△午前十時仮称東中学校起工式
十四日　△全職員を集め町長より卅一年町政執務指示（役場）

31年度海上自衛官幹部募集

防衛庁では三十一年度海上自衛官（幹部、海曹）を次の通り募集しております、詳しいことは直接浦和市高砂町四の百、陸上自衛隊埼玉地方連絡部へお問合せ下さい、なお一般自衛官の募集は四月十六日まで当役場総務課で受付けております

△採用人員
(1)幹部三等海佐　約二〇名、一、二、三等尉　約一〇〇名
(2)海曹一、二、三等海曹　約二百名

△応募資格
日本国籍を有する男子で、志願する職種と関連ある技術又は業務に相当の経験を有する者、旧陸海軍の職種にあつた者等となつております

綴じて御保存下さい

越谷町

各小・中學校

教員の定期異動行わる

学校教員の定期異動は全国一斉に四月一日付（退職は三月卅一日付）異動発表されましたが、当町各小・中学校教員の異動は次のように小学校三十三名、中学校二十名で、新採用は小・中あわせて七名となつております（越谷町教育委員会）

越谷管内各小・中学校教員異動
（敬称略、上から新、旧氏名）

小学校
＝校長＝
▽新方小（慈恩寺中）会田平和▽慈恩寺小（新方小）大久保松太郎▽荻島小（百間小）渡辺八郎▽出羽小（越ケ谷小）岩野十郎▽八幡中（出羽小）小谷内新造▽大沢小（八幡中）小泉好一▽百間小（大沢小）関根一郎▽休職（荻島小）関根武春
＝教員＝
▽桜井小（新採）乳井和子▽退職（桜井小）浜田照美▽増林小（出羽小）野沢芳彦▽同（新採）今城由起子▽同（八条小）宇津木美代子▽同（新採）須賀寿雄▽大相模小（増林小）田代良江▽出羽小（同）吉岡俊二▽大袋小（松伏小）大導寺定子▽荻島小（大袋小）原田清子▽退職（荻島小）田村嘉則▽大相模小（復職）石垣静子▽蓮田南小（大相模小）二宮栄▽退職（同）浜野弘子▽越ケ谷小（百間小）吉岡かおる▽同（桜田小）黒須ゆき子▽同（川柳小）大垣定雄▽同（新採）高梨祇臣▽草加小（越ケ谷小）谷川いう▽百間小（同）伊草茂子▽久喜小（同）二宮兼将▽川柳小（同）古賀昭治▽大沢小（加須小）田沼明▽江面中（大沢小）岩瀬重夫

中学校
＝校長＝
▽新方中（慈恩寺中）会田平和▽慈恩寺中（新方中）大久保松太郎
＝教員＝
▽桜井中（荻島中）関根孝▽同（豊野中）高沢光雄▽幸松中（桜井中）南部善雄▽太田中（同）渋谷辰夫▽増林中（新採）藤木（越ケ谷中）真藤節子▽鴻巣中（荻島中）大原長治▽越ケ谷中（同）新井千代▽出羽中（新採）上原孝子▽越ケ谷中（松伏小）石川善雄▽同（出羽小）塚田哲秀▽同（須賀中）君村武▽荻島中（同）山本良光▽同（荻島小）横山節子▽松伏中（増林小）南部照善▽松伏小（同）宮本慶雄▽中山小（同）井上富子▽越ケ谷中）積穀和延丘

私の言い分 (3)

教育優先たれ

幼児教育に対策を

＝永瀬敏雄＝

華やかな大越谷建設の構想の裏面に隠れ、ともすれば放置されようとするものに、教育部面があります、大塚町長は、町村合併の抱負として「鶏頭たるとも牛尾たる勿れ」と語られましたが、これは単なる県下一の町としての優越感から出た言葉でなく、大文化都市建設の理想を、つつましく表現されたのかもしれません、理想は大を以て可としますが、遠大な理想は、兎角机上の空論に終始する可能性が多々あることを銘記すべきと思います、勿論一般に喧伝されている水道敷設や、大企業の誘引策も衛生都市の負う不可欠の条件として肯定すべきものでありますが、教育振興策を除外した大文化都市等はあり得ないのであります、この意味合から、現在の越谷町教育行政を客観的にみた場合、為政者の絶えぬ努力は認められるとしても、少くも子供等にとつて最良の教育環境であつたかは疑わしいものであります

幸い最近に至り、不足学級も増築され、漸次二部教授も解消されようとしていることは嬉ばしいことです、教育は、人間の人格完成と、真理と平和を愛するヒューマニズム（人間主義）の形成にあります、それ等はあくまで人間対人間の接触によつて育くまれ培われるのでありまして、物的に解決するものではありません、故に校舎さえ出来れば教育問題は解決するものではなく、これ等の素地を身につけるための一環境にすぎないからです、然し人間は環境の中に育てられ形造られている事実は見逃せません、従つて環境の整備こそ教育実践の基本的理念でなければならないのであります、文化都市形成の中核を成すものは教育である以上、財政逼迫の重圧は重々しく教育予算に皺寄せされつつあることはまことに憂うべき傾向と云わなければなりません、教育費の削減は、明らかに教育行政への一歩後退と云われても仕方ありません、例え如何なる弁解があるとしても子供達に満足な勉強の場も与えないで、ただ学校設備費をPT負担、関係土地改良区補助とも併せ行うことになりました工費は三十万円で当町斎藤土木合資KKが請負、只今工事を連日続けております、この工事は長さ二五・一〇メートルを口径〇・八メートルのヒューム管十本をコンクリートの基礎工事によつて葛西用水の下に伏設し、古綾瀬川に落水する水路を作るものであります（写真はその工事現場）

次に小・中学校の整備拡充に附随して、町立保育園と、幼稚園の新設を提案いたします「昔から三ツ子の魂百迄の例え」人間一代の性格は実にこの幼児期において決定付けられると言つても過言ではありません、このような重大な意義を持つこの期の幼児は平常如何に過しているでしようか、幼稚園や保育園は未だ一般の物となつておりません

し、家庭では、家事に忙殺される母親から邪魔にされ、遊び場のないままに街頭に放任されている現状を、世の母親達は如何に考えている事でしよう、「経費の懸らぬ、安心して委せられる施設」それこそ世の母親達の切なる願いではないでしようか町当局の英断によつて、速やかに開設を希望してやみません、最近中央においても、漸く幼児教育の重大性に鑑み、幼稚園の義務教育化に向つて着々準備を進めており、これに対応して埼玉大学では、大量の幼稚園教員の養成に乗出しましたことは注目に値します、近き将来各小学校に公立幼稚園が必ず設置される可能性が強いようです、この意味合からもわが町に、今から十分な受入れ態勢を考慮する必要があることを附言して筆を擱きます（越谷町柳町在住県幼年教育振興会役員）

越巻、瓦曾根の両部落

榮ある縣知事表彰

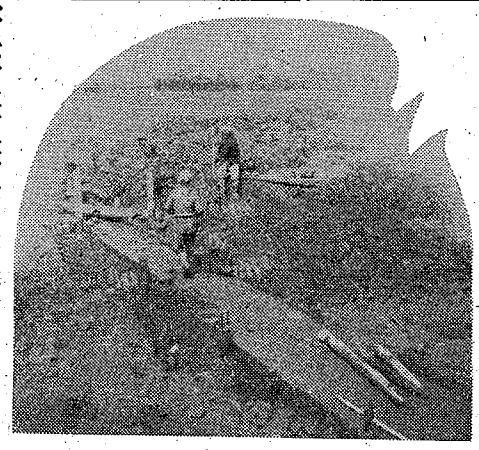
「蚊とハエのいない生活」実践運動は昨年から厚生省を中心として、全国的に推進されて参りましたが、当町では既報の通り越巻、瓦曾根両部落が指定地区として着々その実績を挙げ、優秀な成績を収めつゝ只今作業を継続中で、これが成果は他地区への大きな波紋を描きつつ昭和卅一年を迎えたのであります、この両地区はこの程埼玉県知事から瓦曾根部落を代表して蒲生婦人会長の神谷さんが、また越巻部落を代表して出羽婦人会長の島村さんがそれぞれ去月卅一日県庁会議室に招かれ名誉ある表彰を受けられました（厚生課）

大相模地區

＝労働調査実施中＝

この調査は国の指定統計として行うもので、当町大相模地区が指定され、只今実施中であります、この調査によつて毎月各人の就業状態を調査しこれによつて国の人口中働く人が何人か、産業、経済、文化発展の根幹をなす道路整備保全は重要なことであり、住民の深い理解と協力がなければこれが達成は出来ません、そこで愛護精神の昂揚とこれが思想普及の徹底を計ると共に、実情に即した作業を行うことが大切でありますので、当町においても県道路協会主催のもとに各支所を通じ次により運動を展開することになりました

一、実施期日＝四月十日から四月十九日まで十日間
二、運動方針＝この運動は青年団学校生徒を初め部落連絡員と協議の上全住民が参加し道路の重要性を認識して自主的奉仕活動を促進する
三、作業＝青年団、中・小学校生徒の協力を求め、地区内国県道を左記作業種目に基き日時、所要人員、作業方法等、計画を樹て器具並びに指導等、土木工営所に協力方取計うため作業開始前に御報告を願います
(1)路肩を削り路面を中高とし円形に整理し補給する(2)側溝を浚渫し排水を良くする(3)路端にある樹木の切り払いおよび雑草の刈取(4)清掃その他なお町道までの修理等の作業を実施の場合は、割当以外の砂利を特別御送りいたしますから併せてお願いします、この場合は支所を通じ土木課連絡の上取計い下さい
二、調査事項＝氏名、男女の別続柄、婚姻、十四才以上の人の就業時間、所属産業、従業上の地位、失業関係等
三、調査期日＝三月より五月までの三ヵ月間で、毎月末の七日間



伊原地内

伏越工事着手

＝工費三十万円で＝

農業改良事業

伏越工事に対し補助を出し、関係者負担、関係土地改良区補助とも併せ行うことになりました工費は三十万円で当町斎藤土木合資KKが請負、只今工事を連日続けております、この工事は長さ二五・一〇メートルを口径〇・八メートルのヒューム管十本をコンクリートの基礎工事によつて葛西用水の下に伏設し、古綾瀬川に落水する水路を作るものであります（写真はその工事現場）

春の道路愛護旬間

4月10日～4月19日

町道修理作業に対し砂利を特配

産業、経済、文化発展の根幹をなす道路整備保全は重要なことであり、住民の深い理解と協力がなければこれが達成は出来ません、そこで愛護精神の昂揚とこれが思想普及の徹底を計ると共に、実情に即した作業を行うことが大切でありますので、当町においても県道路協会主催のもとに各支所を通じ次により運動を展開することになりました

一、実施期日＝四月十日から四月十九日まで十日間
二、運動方針＝この運動は青年団学校生徒を初め部落連絡員と協議の上全住民が参加し道路の重要性を認識して自主的奉仕活動を促進する
三、作業＝青年団、中・小学校生徒の協力を求め、地区内国県道を左記作業種目に基き日時、所要人員、作業方法等、計画を樹て器具並びに指導等、土木工営所に協力方取計うため作業開始前に御報告を願います
(1)路肩を削り路面を中高とし円形に整理し補給する(2)側溝を浚渫し排水を良くする(3)路端にある樹木の切り払いおよび雑草の刈取(4)清掃その他なお町道までの修理等の作業を実施の場合は、割当以外の砂利を特別御送りいたしますから併せてお願いします、この場合は支所を通じ土木課連絡の上取計い下さい
二、調査事項＝氏名、男女の別続柄、婚姻、十四才以上の人の就業時間、所属産業、従業上の地位、失業関係等
三、調査期日＝三月より五月までの三ヵ月間で、毎月末の七日間

自動車運転免許証臨時検査のお知せ

この度県公安委員会の告示に基き自動車運転免許証の臨時検査を次により行いますから必ず出席の上検査を受けて下さい（越谷警察署）
一、日時　四月廿二日（日曜）
二、場所　当町大沢中学校庭
三、その他
(イ)免許証は本人が持参のこと
(ロ)当日検査を受けられなかつた方は、四月廿五日までに本署において必ず検査を受けること
(ハ)正当な理由なく、本検査をうけなかつた場合は、処罰をうけることがあります

春の交通安全旬間

四月十六日～廿五日

町税はこのように支出

＝三月の主な支出（一般会計）＝

三月支出計　一一、四九〇、四四四

種目	附記	支出金額
議会費	報酬、旅費、消耗品費	一九一、三三三
役場費	給料、職員手当、消耗品費、通信運搬費、備品費、負担金	二、七〇八、七〇四
警察消防費	維手当、燃料費、備品費、負担金補助及交付金	九六一、八七七
土木費	工事請負費、原材料費	八一五、八八四
教育費	給料、職員手当、報酬、旅費、恩給費又は退隠料、報償金、負担金補助及交付金、工事請負費、施設費	三、〇五五、四七一
産業経済費	給料、職員手当、賃金、負担金補助及交付金	一、三三二、七七九
保健衛生費	原材料費、委託料、通信運搬費	五五三、一二七
統計調査費	修繕料	一、八九五
選挙費	旅費、報償金、備品費	三九、七三四
財産費	光熱水費	二〇、四三〇
公債費	利子及割引料	一七五、八〇〇
諸支出金	報酬、報償金、食料費、印刷製本費、他会計の繰出、負担金補助及交付金	二四三、五六八
社会及労働施設費	食糧費、委託料	一一、八四二

さあ春の大掃除

清潔法にもとづく春の大掃除が次の日程で行われます、「蚊と蠅のいない生活」の実践の一環といたしましても、この春の清潔を徹底的に行うことが大事でありまして、当町厚生課では町民方々のご協力とご理解により大きな成果があがるよう準備いたしておりますし、何卒ご協力をおねがいいたします（厚生課衛生係）

▽四月十八日　蒲生、川柳
▽同　十九日　出羽
▽同　二十日　荻島
▽同　廿一日　大袋
▽同　廿三日　桜井
▽同　廿四日　新方
▽同　廿五日　増林
▽同　廿六日　大相模
▽同　廿七日　大沢
▽同　廿八日　越ケ谷

越谷町母子福祉協議結成準備会各地区で行わる

未亡人母子家庭の母に対し、健全な児童育成、母子保健の普及指導等、地域社会における母子福祉の増進に万全を期したいと次のように各地区で、これが結成準備会を開催、結成することになりました

△四月十日午後一時　蒲生
荻島地区△同十一日　出羽
大相模地区△同十二日　増林、新方地区△同十三日　桜井、大袋地区△同十六日　大沢、川柳地区△越ケ谷地区は結成済　（厚生課）

廣報板

地区名	第一回訪問期日	第二回訪問期日
新方	四・一六	四・二三
蒲生同	同	同　五・八
出羽	四・一七	四・二四・五・九
桜井同	同	五・一〇
大沢	四・一八	四・二五　五・一二
荻島同	同	五・一四
増林	四・一九	四・二六　五・一五
大相模同	同	五・一六
大袋	四・二〇	四・二七　五・一七
川柳同	同	五・八
越ケ谷	四・二一	四・二八　五・一八

なお会場は各地区共支所、越ケ谷だけ本庁で行い、時間は午後一時から三時までです、当日登録手数料三百円と、注射料百三十円いただきます、但し戸別訪問による注射料は二五〇円です

狂犬病予防注射お知らせ

町営　公益質庫・越谷病院　出羽・新方診療所をご利用下さい